

平成23年第9回福岡県教育委員会会議（臨時会）会議録

1 開催日時

平成23年4月21日（木）14時00分から14時48分まで

2 場所

福岡県庁4階 教育委員会会議室

3 出席委員

清原雅彦、久留百合子、住吉徳彦、太田浩二、杉光誠（教育長）

4 欠席委員

二子石竜子

5 出席事務局職員

教育次長 荒巻俊彦、理事 友枝文也、総務部長 今田義雄、
教育企画部長 城戸秀明、教育振興部長 森下博輝、
総務課長 西牟田龍治、社会教育課長 中菌宏

6 会議

14時00分、清原委員長が開会を宣言し、本日の議題について非公開発議の有無の確認を行った。

第19号議案「事務局等職員の人事について」は、太田委員から、人事に関する案件のため非公開とする発議があり、直ちに採決され、出席委員の3分の2以上の賛成をもって非公開と決定された。

その他の議案については、非公開の発議なく公開と決定された。

（1）報告

- ・社会教育の充実に向けた今後の連携方策について

中菌社会教育課長から、福岡県社会教育委員の会議において、子どもの学校外教育に係る連携の在り方をテーマに審議し、平成23年3月にとりまとめた冊子の概要について説明があった。

次いで審議が行われ、久留委員から、項目毎に取組事例が掲載されており、とても見やすく、今後取組を推進するに当たってとても参考になるのではないかとの意見があるとともに、対象は小学校から中学校、高校までの事例があるようだが、実際は小学校が多いのか、また県としては、今後具体的にどういうふうに関わっていくのかとの質問があった。これに対し、

中藪社会教育課長から、まず、この取組は、幼稚園、保育園から小学校、中学校、高校までの幅広い子どもたち全般を対象としており、行政だけでなく、社会教育関係機関・団体等と幅広く連携できるような効果的な事例をあげていること、また県としては、今後、市町村教育委員会の教育長との会議や、社会教育関係の研修会等の場で配付するなどして、活用していくことなどの説明があった。

また、太田委員から、それぞれの市町村では、こういう冊子を活用して実践していくまでの取組には至っていないのが実情であり、現場に近いところが、しっかりと取り組めるような体制づくりに向けて、県としてもっと踏み込んでやってもらいたい。また併せて、学校外教育という観点でいけば、当然、「学童保育」についても入れる必要があると思うが、全くふれられておらず、県教委の直接の所管ではないのだろうが、今後は是非入れて審議してほしいとの要望があった。

また、住吉委員から、この冊子を配付して終わりではなく、今後この実現に向けて、県として具体的に何ができるのかを是非検討してほしいとの要望があった。

また、清原委員長から、各団体はそれぞれが目的をもって取り組んでおりとても素晴らしいことだが、県としては、もっと各団体を取りまとめ、場合によっては団体間の連携を図るなど、県が各団体を率先してリードしていくことも必要ではないかとの意見があった。

公開審議はここまでとされ、清原委員長から傍聴人に対して退出が求められた。以後非公開にて審議を行う。

(2) 議事

・第19号議案 事務局等職員の人事について

西牟田総務課長から、知事部局関連人事として事務局等職員の人事異動を行うものである旨の説明があった。

次いで審議が行われ、第19号議案は原案どおり可決された。

清原委員長が閉会を宣言し、14時48分閉会した。